

## 情報サービス産業協会との意見交換会実施報告

平成 28 年 1 月 4 日

産官学連携委員長 青木尋子

1. 日時： 平成 27 年 12 月 11 日（金） 13:30～16:30
2. 場所： JAXA 筑波宇宙センター 総合開発棟 中 1 b 会議室
3. 参加人数： 情報サービス産業協会（JISA） 18 名  
日本リモートセンシング学会（RSSJ） 5 名

### 4. 実施報告

産官学連携委員会では平成 27 年度活動計画の 1 つに「ICT 関連産業界へのアプローチ等、異業種分野との交流」を挙げています。その一環として、この度、一般社団法人情報サービス産業協会（JISA）との意見交換会を実施しました。

当日は JAXA 筑波宇宙センター施設見学を前半に設定し、展示館スペースドームを見学、展示館説明員より地球観測衛星を中心とした解説を聴きました。

意見交換会は、冒頭 JISA 島田副会長からの挨拶の後、日本リモートセンシング学会の概要と産官学連携委員会の活動目的を紹介しました。引き続き、産官学連携委員よりリモートセンシング概要説明と実利用事例紹介を実施しました。また、産官学連携委員会に所属する ICT 企業メンバから、ICT 企業としてのリモートセンシングへの取り組み事例とビジネスの視点についてプレゼンを実施しました。その後、JISA から事前に提示された質問・意見を中心に自由討論を行いました。JISA からは

- ・衛星画像を時間軸で合成した時空間情報の取り扱い
- ・GIS、気象情報、人口統計など、他情報との統合

等への関心が示されました。最後に、RSSJ がシステムインテグレータ企業に期待することとして以下の 2 点を提示しました。

- ・リモートセンシングデータ自体が巨大化しており、効率的なアーカイブ、高速データ伝送など、大量データのハンドリング技術が必要。
- ・リモートセンシングデータの実利用を本格化させるためには、ビッグデータも含む多様なデータとの融合、モデルへのデータ同化など、高度な情報処理能力だけでなく、従来のリモセン関係者分野とは異なる視点が必須。

今回の意見交換会は、ICT 分野との交流において有意義な第一歩となりました。今後もさらなる連携へ向けて取り組んでいきたいと考えます。

## 5. 当日プログラム

●JAXA 宇宙センター施設見学 13:30-15:00

●意見交換会

1) 挨拶、団体の紹介 15:00-15:10

情報サービス産業協会 (JISA) 副会長 島田 俊夫

日本リモートセンシング学会 (RSSJ) 産官学連携委員長 青木 尋子

2) リモートセンシング概要 15:10-15:25

3) 実利用事例 15:25-15:40

RSSJ 産官学連携委員 高橋 陪夫

4) I T企業の取り組み事例 15:40-15:50

RSSJ 産官学連携委員 若松 健司

5) 自由討論 15:50-16:30

進行： 青木 尋子